



# デメテル Demeter

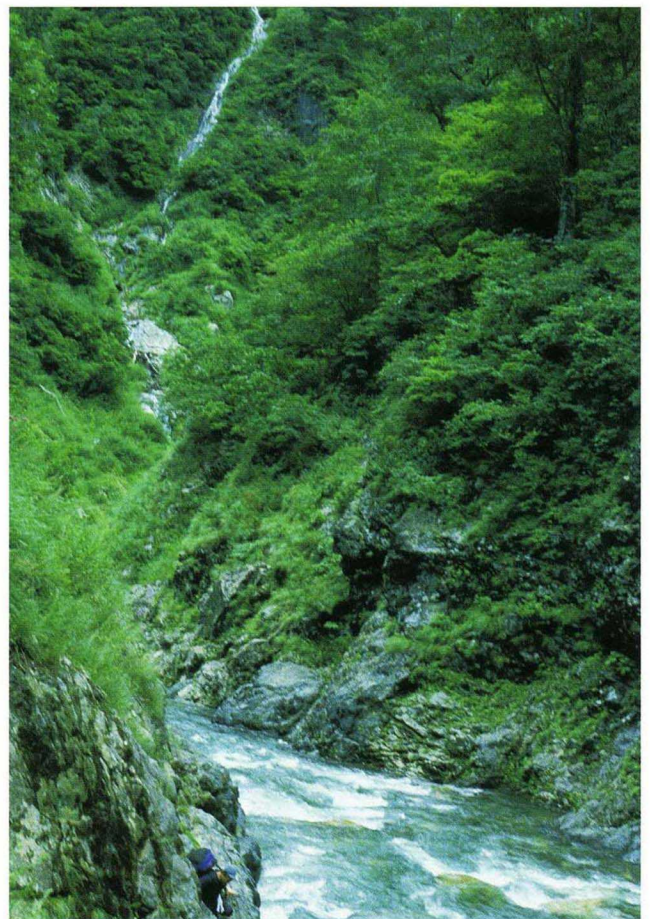
群馬県立自然史博物館だより No.35

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2006.冬・春

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。

## 特別展「奥利根 その自然をさぐる」

開催期間 2006年3月18日(土)～5月7日(日)



左上：第二次奥利根総合学術調査風景 左下：利根川水源の雪渓 右：本流の難所 シッケイガマワシ

本県をはじめ、関東地方の人々にはなじみ深い利根川。しかし、その険しい地形のため、源流域に足を踏み入れた人はごくわずかです。本県では、明治時代から水源探検を行い、1970年代以降は、2度にわたる学術調査で利根川源流域の自然を明らかにしていきました。

この特別展では、知られざる、利根川源流域の自然について紹介します。また、本県の学術調査は、高い登山技術をもった調査隊によって行われまし

た。一般の方にはなじみがない学術調査隊の活動のようすを紹介し、学術調査について理解を深めていただきたいと思います。

また、利根川源流域は、関東1都4県の水源として位置づけられています。特別展では、水資源としての奥利根地域のかけがえのなさを伝えるとともに、利根川の水が下流域の東京圏の人々に届くまでのようすも紹介します。

(学芸グループ 大森威宏)



# 特集

## 展示詳解!

### その17

# オーストラリアの 生き物たち



私たちが普段当たり前のように目にしている動物や植物などの自然も、これまでその地域が経てきた長い歴史の上に形づくられてきました。そのためそれぞれの地域には地域ごとの特色が見られます。オーストラリアといえばご存じのように世界で一番小さい大陸であり、一番大きい島でもあります。オーストラリアは長い間他の大陸とは陸続きになっておらず、そのため独自の生き物が発達してきました。

オーストラリアの生き物といってまず思い浮かぶのはコアラやカンガルーなどではないでしょうか。彼らは私たちと同じ哺乳類ですが、そのなかでも有袋類と呼ばれる独自のグループの生き物です。有袋類の特徴はこどもが発生のごく初期の段階で産み落とされ、その後は母親のおなかの部分にある袋(育児嚢いじじのう)のなかにおさめられている点です。この育児嚢は種類によって様々な大きさ・形があり、例えばカンガルーの仲間では大きくて深い袋ですが、フクロネコの仲間などでは盛り上がった皮膚のひだにすぎず、こどもを包み込むほどではありません。

博物館のCコーナーに展示されている有袋類の仲間、フクロシマリス(写真1)は体全体が白と黒のしま模様



写真1



写真2

われており、外見はスカンクにも似ています。彼らはオーストラリアではクィーンズランド州北部に生息しています。昆虫を主に食べており、彼らの持つ長い舌や長い指は木の割れ目などから昆虫を引っ張り出すときに役に立っています。また私たちにもなじみ深いコアラも有袋類の仲間です。Cコーナーではコアラが食べているユーカリのにおいをかぐこともできます。

オーストラリアには「単孔類」と呼ばれる、哺乳類のなかでも大変風変わりなグループも生息しています。彼らは「卵を産む哺乳類」として知られています。単孔類という名前は卵とフンとおしっこを総排出腔(そうはいしゅつこう)という同じところから出すことから名付けられました。

博物館Cコーナーにあるチャーリー博士の机の上には単孔類であるカモノハシの標本があります(写真2)。カモノハシは哺乳類としては珍しく毒をもつ動物です。オスの足首の後ろ側にあるけづめから毒液を出します。この毒の威力は強く、イヌであれば殺すことができるほどと言われています。チャーリー博士の机の上にあるカモノハシの標本はどちらもレプリカですが、骨格標本では足首の後ろにある毒を注入するけづめを確認することができます。

自然史博物館では平成18年度に企画展「コアラ大陸 オーストラリア～ふしぎな動物たちの世界～」を開催します。企画展ではコアラやカンガルーはもちろん、カモノハシや絶滅してしまったフクロオオカミなど、たくさんの実物骨格・剥製標本によってオーストラリアの自然を紹介します。他にもオーストラリアから発見された恐竜など多くの化石標本を展示する予定です。ご期待ください。

(学芸グループ 木村敏之)

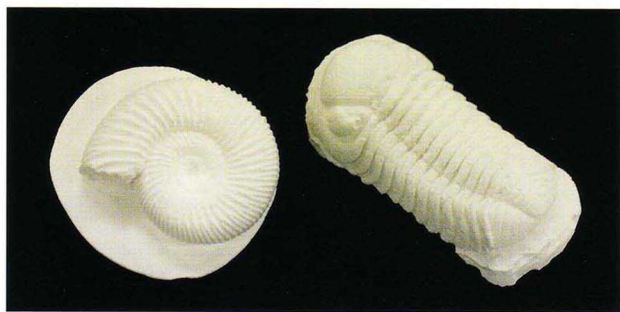


# 館内授業のメニューについて

今回は、昨年のNo.31でご紹介した「館内授業」のメニューについて具体的にご紹介いたします。

## ①化石のレプリカづくり

石膏を材料に、アンモナイトと三葉虫の化石のレプリカをつくります。



## ②飛ぶタネの模型をつくろう

色紙や浮羽ペーパー(発泡スチロールを薄くスライスしたもの)を使い、カエデ・ニワウルシ・フタバガキ・アルソミラのタネの模型をつくります。



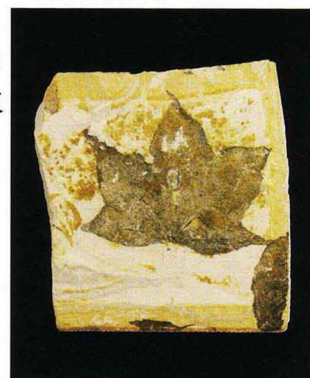
## ③葉のパウチ標本をつくろう

館周辺にあるイロハモミジ・オオモミジ・トウカエデ・オニイタヤ・ウリカエデ・ウラゲエンコウカエデの6種から選択してパウチ標本をつくります。



## ④植物化石をさがそう

栃木県塩原町産の「木の葉石」から植物化石を取り出す活動を行います。



(総務普及グループ 金澤芳彦)

## 平成18年度子どもミュージアムスクール生募集!

子どもミュージアムスクールに参加して、自然のしくみや群馬の自然を調べてみませんか!

対象：小学5年生～中学2年生

定員：12人(各コース6人、応募者多数の場合は抽選)

参加費：1,500円(保険料・教材費の一部負担)

応募方法：

①申込用紙請求期間／3月1日(水)～3月28日(火)必着

\*80円切手と返信用封筒を同封してお申込下さい。

\*4月14日(金)に館より申込用紙を送付します。

②申込締切／5月8日(月)必着

③参加者決定／5月16日(火)

活動期間：2006年6月～2007年3月(8～10日間)

活動予定内容：

コース①／昆虫採集学入門：昆虫の習性や食性に応じた方法で採集し、標本を作製します。

コース②／哺乳類骨学入門：フクロウのペリットの中身を調べます。

\*活動予定内容であり、変更の可能性があります。申込用紙には決定した内容を記載します。

(総務普及グループ 野口喜充)



今年度の活動の様子：帰化植物研究コース



# 収蔵資料より 若名東一植物標本コレクション

若名東一氏植物標本コレクション432点が、11月に県立図書館から当館に移管になりました。

若名氏は千葉県出身で、主に東日本全域で活躍されたコレクターです。今回移管されたコレクションは、若名氏が本県在住中に行った採集活動の裏付けとなるものです。また、本コレクションには、現在絶滅や情報不足の状態にある植物の標本も含まれ、当時の群馬の植物相を知る上でも重要な意味があります。なお、若名氏は勢多郡北橋村で後にワカナシダと名付けられた国内新発見のシダの採集者として知られています。

(学芸グループ 大森威宏)



ユカボタデ  
(群馬県絶滅危惧I類)

## インフォメーション (3月~6月の予定)

**特別展「奥利根 その自然をさぐる」** 2006年3月18日(土)~5月7日(日)

**3月** 2月28日(火)~3月2日(木) 臨時休館日

11日(土) 子どもミュージアムスクール閉校式

18日(土)~5月7日(日) 特別展「奥利根 その自然をさぐる」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「動物の足跡スタンプをつくろう」

**4月** 16日(日) 特別記念講演会 講演1:「奥利根地域の地質」  
講演2:「記者の目から見た奥利根学術調査」

23日(日) ファミリー自然観察会「春の森林に生息する野鳥の観察」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「奥利根にすむイヌワシ型グライダーをつくろう」

**5月** 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「ライオンの歯のレプリカをつくろう」

**6月** 2日(金)~3日(土) 移動博物館(桐生市梅田公民館)

11日(日) スーパーサイエンスレクチャー「水生昆虫から環境を考える」

25日(日) ファミリー自然観察会「高山植物の名前をおぼえよう」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「かんたん顕微鏡をつくろう」

### 利用案内

■開館時間 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:30まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

■観覧料 一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)

※企画展開催中は、特別料金になります。

※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

### 凡例

- 実験室行事
- 天体観望会
- ファミリー自然観察会
- 学習室行事
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み
- 当日会場で申し込み

### 休館日

○印の日は休館いたします。

**3月**

日 月 火 水 木 金 土  
 . . . ①② 3 4  
 5 ⑥ 7 8 9 10 11  
 12 ⑬ 14 15 16 17 18  
 19 ⑳ 21 22 23 24 25  
 26 ㉑ 28 29 30 31 .

**4月**

日 月 火 水 木 金 土  
 . . . . . 1  
 2 ③ 4 5 6 7 8  
 9 ⑩ 11 12 13 14 15  
 16 ⑰ 18 19 20 21 22  
 23 ⑲ 24 25 26 27 28 29  
 30 . . . . .

**5月**

日 月 火 水 木 金 土  
 . 1 2 3 4 5 6  
 7 ⑧ 9 10 11 12 13  
 14 ⑮ 16 17 18 19 20  
 21 ⑳ 23 24 25 26 27  
 28 ㉑ 30 31 . . .

**6月**

日 月 火 水 木 金 土  
 . . . . . 1 2 3  
 4 ⑤ 6 7 8 9 10  
 11 ⑫ 13 14 15 16 17  
 18 ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔  
 ㉕ ㉖ ㉗ 28 29 30 .